

■主催：文芸教育研究協議会（文芸研）

オンライン

# 第56回 文芸教育全国研究大会

期日 2022年7月30日（土）午後半日 オンライン開催

大会テーマ 31日（日）全日 オンライン開催

## ものの見方・考え方を育てる国語教育

—美と真実を求めて—



講師紹介

記念講演

○講師 **朽木祥**（くつき・しょう 児童文学作家）

○演題 「物語ること、伝えること」

広島市生まれ、被爆二世。作品はファンタジー、リアリズム、ヒロシマ関連など多岐に渡る。文学性の深さやストーリーテリングの巧みさで知られ、数々の賞に輝く。近年では、ヒロシマを描いた作品『たずねびと』が国語教科書（光村図書出版）に所収され、同『光のうつつしえ』（講談社）：Soul Lanterns(Penguin Random House)は英訳刊行されて米国で〈ベストブックス 2021〉に選定された。

7月30日午後開会 基調提案・基調講演・記念講演  
7月31日全日開催

午前の部			
入門講座	主に使う教材または内容		
詩	「ゆき」「おおきな木」他、教科書教材		
作文	認識と表現の力を育てる入門期の作文指導		
絵本	アーノルド・ローベル「いろいろへんないろのはじまり」		
文芸学	「かたつむり」「バッタのうた」「一つの花」「理髪店にて」		
ものの見方	文芸、詩、絵本等を使って「ものの見方・考え方」を提案		
説明文	「固有種が教えてくれること」		
午後の部			
分科会	教材等	分科会	教材等
1年	「ずうっと、ずっと、大すきだよ」	4年	「ごんぎつね」
2年	「スーホの白い馬」	5年	「大造じいさんとガン」
3年	「モチモチの木」	6年	「海の命」
中学・高校	「少年の日の思い出」		
特別支援	文芸学の理論を活かした学級づくり		

参加申し込みは6月より「文芸研」HPから。

「文芸研ホームページ」または、右QRコードで検索

